

別記様式第7号

公益信託ぎふNPOはつらつファンド
実績報告書(事業助成用)

平成18年10月31日

公益信託ぎふNPOはつらつファンド受託者
三菱UFJ信託銀行株式会社 御中

住 所:〒501 - 0706
岐阜県揖斐郡揖斐川町西津汲711番地
法人(団体)名:特定非営利活動法人
たからのやま久瀬 印

代表者名:理事長 吉村 学

公益信託ぎふNPOはつらつファンドから平成17年度(前期・後期)の事業助成を受けた事業が完了しましたので、下記のとおり関係書類を添えて報告します。

記

1. 事業名

たからのやま久瀬まちづくり事業

2. 助成の種類 該当するものに を付けてください。

		<input checked="" type="radio"/>	
法人設立準備助成	立ち上げ時事業助成	展開期事業助成	人材育成事業助成

3. 助成金額

既交付金額	3,360千円
実績額	3,151千円
差し引き額	209千円

4. 事業実施期間

平成17年10月日 ~ 平成18年 9月 30日 (1年 0か月間)

5 . 実施した事業の実績・成果

(1) 具体的な活動状況（実施日時、場所(住所)、対象者、参加者等）

花桃コンサート

平成18年5月14日（日）揖斐郡揖斐川町日坂、貝月リゾート野外ステージにおいて揖斐川町花「花桃」と「自然」と「音楽」をコラボレーションしたコンサートを開催。地元のグループをはじめメジャーデビューして活躍中のアーティスト8組の合計16組でJ - P O Pのコンサートを初企画した。ボランティアが県内外より60名、来場者は700名となりヤングを対象とした内容となった。

エコ講座

平成18年7月8日（土）揖斐郡揖斐川町西津汲久瀬公民館において「ワイヤークラフト」講座を開催した。講師は久瀬出身で栃木県在住の田中真知子氏に依頼した。対象は一般、参加者は25人。平成18年8月5日にやまびこの郷夏祭り会場・8月9日久瀬公民館において間伐材ベンチ作り講座を2回開催した。講師は山本利弘氏 対象は一般で参加者は高校生36人・一般8人の44人。（高校生のベンチはやまびこの郷施設へ寄付した）

揖斐川本流クリーン作戦及び成魚の放流

平成18年5月28日（日）揖斐郡揖斐川町久瀬地域一帯の揖斐川本流及び支流
対象は一般 参加者は138名（子ども70人・一般68人）

国際交流

平成18年7月7日アメリカ「米日教育交流協議会」よりテキサス州とニュージャージー州在住の中学生2人と久瀬保育園児との交流を行った。園児30名参加

青少年活動の支援

平成18年8月5日老健施設やまびこの郷で夏祭りが開催され、地域の高校生が参加してバザーを行った。6月より高校生との打合せを行いながら当日の支援をした。
高校生36人参加

リーフレット作成

平成18年9月にリーフレットを作成し地域に配布した。地域世帯485戸

(2) 活動の成果（開催行事等の参加規模、目的の達成度、効果等）

「花桃フェスタ」を開催したことで地域住民より従来秋に開催していたイベントを花桃の満開時に移行しようと賛同があり、平成19年度の地域のイベントの見直しを検討中である。当NPO法人の当初の目的でもあった「ファミリー」「子ども」「ヤング」祭りの開催と「揖斐高原花桃の里づくり」への方向性が達成できた。来年度より開催日を連休中（予定）とすることで広域的に多数の参加者を見込めるイベントとなり地域の活性化を図る事業となった。

「夏祭り」は地域の高校生36人・聖徳学園の大学生25人が参加した。青少年活動の支援は今年で3年目となり、高校生が参加するイベントとして地域活性化の一環として認められてきた。
高校生はバザーの売上全額でエコ講座に参加してベンチを作り施設に寄付した。
高校生は来年も参加すると意欲的であり今後も支援して行きたい。

いびNPO法人連絡協議会の設立により、共同開催のクリーン作戦やエコ講座の参加者が広域的に広がり参加者の関心も深まった。

(3) 今後の課題

揖斐高原花桃の里づくりの方向性

今回、当NPO法人が花桃の里としてイベントを初企画した揖斐高原貝月リゾート
一帯は、揖斐川町行政の指定管理者として財団法人いび川が管理運営をしている。
そのため、住民・NPOがどのように花桃の里づくりに関わっていくのか、NPO
が久瀬地域の活性化にいかに関われるかを更に検討したい。

まちづくり事業の中で、少子高齢化の地域が本当に求めている事業の情報を継続し
て収集して行き、今、NPOだからできる又、NPOだから協力できる事を行政に
提供して協働で事業を進めて行きたい。